かちまいスポーツ

記録の速報は▼kachimai.mobi　Eメール▼sports@kachimai.co.jp
写真がほしい▼TEL0120-25-9410　ファクス▼0155-25-2700

福島100分の1秒差大逆転

陸上女子100㍍決勝、先頭でゴールする福島千里（左端）と2位のグゼル・フビエワ（ウズベキスタン、左から2人目）＝22日、中国・広州（AFP＝時事）

アジア大会陸上女子100

重圧はねのけ頂点に

女子100㍍決勝のゴール直前、福島はぐいっと顔を前方へ突き出した。わずか100分の1秒差で隣のレーンのウズベキスタン選手を抑え、この種目で日本勢44年ぶりとなる念願の金メダル。「本当に、本当に、勝ててよかったです」。報道陣の前ではいつも控えめな福島が、自分の感情を素直に表現した。

得意のスタートでつまずいた。中盤は3番手で珍しく追い掛ける苦しい展開。最後に隣の選手の顔が見えたが、自分が勝ったかどうか分からなかったという。レース展開は覚えていない。「自分の走りができての金なら百二十パーセントよかったけど、優勝できたからそこは目をつぶる。リレーにも勢いがつけばいいですね」と笑った。

「勝ててよかった」

自己ベストは4月にマークした11秒21で、今季のアジアランキングでは敵なし。「200、400㍍リレーと合わせた3冠」という関係者の声に、人一倍神経の細やかな福島が重圧を感じていたことも想像に難くない。解放感でいっぱいの笑顔がそのことを物語っていた。

左足首にはこの日もがっちりテーピングが巻かれていた。あるいはスタートに影響したか。しかし、自分から語ることなく、激戦を勝ち抜いた。

「（世界選手権やロンドン五輪に向けて）いいスタートを切れた。あとでそう振り返れたらいいですね」。福島はまた一回り大きくなった。（広州時事）

陸上女子100㍍を制し、日の丸を手に喜ぶ福島千里＝22日、中国・広州（時事）

「夢をくれた」

“金”に地元関係者 称賛の声

十勝が生んだアジア最強のスプリンター、福島千里の金メダルに地元の関係者たちも歓喜に沸いた。テレビを通じて祈るような気持ちでレースを見届けた家族はメールで祝福。中学、高校時代の指導者たちは「強くなった」「子供たちに夢をくれた」と称賛の声を上げた。

家族は幕別町内の自宅でテレビでレースを見守った。父の輝幸さん（57）は、追い込んでいくレース展開に「今まで見たことのない走りだった。必死だったのだろう」。レース前には母親の玲子さん（51）に、アップを始めるとメールが届いたという。時々、レース前にメールを送ってくることがあるが、輝幸さんは「相当プレッシャーがあったのでは」と思いやった。

金メダルが決まった瞬間、家族で「やったー」と喜んだ。2位と100分の1秒差に祖母のミエ子さん（83）は「心臓が止まりそうだった」という。玲子さんは「おめでとう」とメールを送った。

岡田和夫町長は、自宅でテレビ観戦した。「よく頑張った。山本幸平君（幕別町出身、マウンテンバイク）も銀。北京五輪からの2人の活躍は期待通りで、町にとってうれしい限り」と喜んでいた。

福島が中学生時代に所属した十勝陸上クラブ顧問の柳橋敏雄さん（64）は「金メダルを期待された重圧もあったと思うが、よくやってくれた。十勝の子供たちに夢を与えてくれた」と快挙に胸を熱くしていた。出身校の帯南商高陸上部の辻吉則監督（45）は「来年の世界選手権、再来年のロンドン五輪に向けてステップになる結果。新たなプレッシャーも生まれると思うが、日本代表としてレースに出ることで人間的にも強くなったと思う」と教え子の成長に目を細めた。（平田幸嗣、古川雄介）

【女子】▽100㍍決勝＝①福島千里（北海道ハイテクAC―帯南商高出）11秒33②フビエワ（ウズベキスタン）11秒34③フォン（ベトナム）11秒43④高橋萌木子（平成国際大）11秒50

ばんえい十勝

名手 最後の雄姿

鈴木勝騎手引退記念レース

ばんえい十勝は22日、鈴木勝堤騎手（51）＝鈴木邦哉きゅう舎＝の引退記念レース、セレモニーを行い、名ジョッキーの最後の雄姿にファンが声援を送った。この日に7回騎乗した同騎手は1勝を挙げ、生涯成績は29年間で1万7850戦2313勝（うち重賞40勝）、歴代6位の勝利数だった。

年間最多勝を4回（2002年度、06年～08年度）獲得している名手の騎乗は最終まで話題を呼んだ。第6レースにライデンホマレ（牡5歳）で勝利。第9レースの「鈴木勝堤騎手引退記念」レースでは重賞ナナカマド賞（10月11日）を制している期待の新馬オイドン（牡2歳）で豪快騎乗を見せて4着だった。

最後の騎乗となった第11レースはナリタボブサップなど豪華メンバーの特別戦。ウメノタイショウ騎乗の同騎手は第2障害でまさかの転倒、ほかの馬に影響を与えたとして戒告処分を受けるおまけ付き。「最後まで波瀾（はらん）万丈。いやあ、終わった」と苦笑いしながらゴール地点で報道陣と握手を交わした。

最終騎乗を終えて引退セレモニーに臨んだ。娘婿の鈴木恵介騎手から花束を受け取ると「よろしく頼みます」と若手騎手に競馬の将来を託し、盛雅（せいま）ちゃん（6歳）ら孫4人から花束をもらって笑顔がはじけ、後輩騎手から胴上げされた。一時代を築き、明るい性格・厚い人望でファンを獲得したスター騎手は今後、旭川で競走馬の生産・育成に打ち込む。（横田光俊）

引退記念レースのオイドンで豪快な騎乗を見せる鈴木勝堤騎手

6チームで熱戦

帯広信金杯争奪小学IHが開幕

【清水】アイスホッケーの第6回帯広信用金庫杯争奪PeeWee大会（清水町アイスホッケー協会主催）がこのほど、清水町アイスアリーナで開幕した。

小学3、4年生で編成した、合同を含む6チームのリーグ戦。12月19日が最終日。21日までに6試合を消化し、広陽稲田ブルーインズが3勝している。

広陽稲田ブルーインズ　7　2―2　0―2　5―0　4　清水御影
▽得点者【広】伊藤2、谷2、佐藤2、加藤【清】木綿3、榛澤
▽アシスト【広】谷3、伊藤2、志賀【清】榛澤、木綿
▽反則【広】2【清】3
▽シュート数【広】53（15、17、21）【清】12（4、6、2）
▽審判＝合尚、後藤、石井

幕別啓西　13　4―0　5―0　4―0　0　音更チェスコ
▽得点者【幕】石井4、寺山3、西岡3、萱谷2、小山
▽アシスト【幕】石井4、萱谷、西岡、牛尾
▽反則【幕】0【音】3
▽シュート数【幕】48（20、12、16）【音】0
▽審判＝合尚、加藤、澤山

浦幌開西　8　2―1　3―2　3―4　7　Vortex大空
▽得点者【浦】堀川4、中條2、野村2【V】古川4、宮田2、篠田
▽アシスト【浦】中條4、口田2【V】宮田2、杉江
▽反則【浦】0【V】1
▽シュート数【浦】28（11、11、6）【V】27（10、7、10）
▽審判＝合真、後藤、加藤

浦幌開西　12　4―0　4―0　4―1　1　幕別啓西
▽得点者【浦】中條8、堀川2、口田、野村【幕】石井
▽アシスト【浦】口田2、中條2、野村、奥村、堀川
▽反則【浦】2【幕】0
▽シュート数【浦】31（8、14、9）【幕】6（0、1、5）
▽審判＝合真、田守、加藤

広陽稲田ブルーインズ　21　7―0　5―0　9―0　0　音更チェスコ
▽得点者【広】谷6、伊藤5、志賀3、佐藤2、加藤2、坂本2、秋山
▽アシスト【広】谷4、佐藤3、渡辺2、伊藤、加藤、志賀
▽反則【広】0【音】0
▽シュート数【広】67（22、22、23）【音】1（0、0、1）
▽審判＝合真、広川、奥村

広陽稲田ブルーインズ　6　1―0　2―2　3―1　3　Vortex大空
▽得点者【広】谷5、志賀【V】古川2、杉江
▽アシスト【広】志賀、佐藤【V】宮田
▽反則【広】1【V】2
▽シュート数【広】17（5、6、6）【V】14（5、3、6）
▽審判＝合真、西、堀川

社会人アイスホッケー

清水町リーグ

（20日・清水町アイスアリーナ）

◇C級

帯広養護学校　5　2―0　2―1　1―0　1　ボンバーズ
▽得点者【帯】菅野3、橋詰、國分【ボ】鉾館
▽アシスト【帯】波岡、三坂、橋詰
▽反則【帯】0【ボ】0
▽シュート数【帯】44（16、13、15）【ボ】29（8、13、8）
▽審判＝花田、河田、野田

清水町教職員　9　3―0　5―1　1―4　5　日甜バスターズB
▽得点者【清】片平3、山本2、井上、嶋、福原、竹田【日】菊地2、山下2、山本
▽アシスト【清】福原5、山本2、片平、井上【日】赤間、菊地
▽反則【清】0【日】1
▽シュート数【清】57（18、20、19）【日】35（14、8、13）
▽審判＝平岡、河田、野田

プレスカップカーリング

（22日・カールプレックスおびひろ）

【男子】◇予選▽Aリーグ
ノーザンライツ　3002104　10
帯畜大マトリョシカ　0110010　3

▽Bリーグ
帯畜大チームびっくり人間　0101011　4
畜大OB＊STICKS　0020100　3

【女子】◇リーグ戦
帯畜大ソルト　0100000　1
Link　2041120　10

帯畜大おとうふ　012022　7
チームなごみ　100500　6

記録を訂正

十勝柔道連盟は21日に行われた第41回全十勝少年団柔道大会の記録を以下のように訂正した。

＜個人戦＞【男子】◇小学4年生の部＝①原祐介（池田）②佐藤大輔（広尾）③畠山恵輔（音更）③加藤亘真（広尾）